

1. ファッションビジネス論 : 玉村 雅美
2. 市場調査 I : 玉村 雅美
3. ファッション販売 I : 加藤 誠司
4. ビジュアルマーチャンダイジング I : 大橋 康子
5. ファッショントレンド分析 I : 平山 宙歩
6. ファッション画 : 松本 和子
7. ファッション造形 : 城代 蘭
8. 素材 I : 飯島 裕子
9. ファッション論 : 上間 常正
10. カラー I : 落合 里美
11. パソコンワーク : 塚田 大祐
12. コミュニケーションマナー I : 秋山 美子
13. 英会話 I (シニアコース) : SUZANNE STEINER
14. 英会話 I (エレメンタリーコース) : JERRY SCHLEGEL
15. フランス語 I : TOUSCOZ PHILIPPE-JEAN

科目名	ファッションビジネス論	教員名	玉村 雅美
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>ファッション業界で仕事をするうえで必要な基本的なビジネス知識の一つとして位置づける。</p> <p>ファッションを毎日の生活のなかで捉えながら、流行を生み出すプロセスとその特徴を学びます。</p> <p>また、衣服の流通システムを理解するとともに、業界用語の意味を幅広く習得していきます。</p> <p>後半は、業界で重要視されているブランドの役割と価値を理解し、顧客との関連性について学びます。</p> <p>さらに、「ファッション感性イメージ」と「トレンドの要素」との関連性も実習を通じて理解を深めていきます。</p> <p>一年を通じて、講義とマップ制作から業界知識を習得し、感性を磨いていきます。</p>		
到達目標	<p>◎ファッション業界でよく使われる基本的な専門用語を理解し、現場で活用できるようにする。</p> <p>◎「ファッションのイメージ」と「トレンドの要素」の関連性を理解し、服を深く理解し、表現力をつける。</p> <p>◎マップ制作(視覚的にまとめたもの)を通じて講義内容の復習と思考力、編集力、美意識を高めていく。</p>		
授業の方法	<p>◎講義と実習(マップ制作)を交えて授業に飽きないように指導する。</p> <p>◎授業で取り上げた用語をファッションビジネス用語辞典で確認し、理解を深める。</p> <p>◎マップ制作を通じてファッションの楽しさ、学ぶ意欲を高めていく。</p>		
成績評価の方法	<p>◎課題の内容・出来栄え(含む、提出期限) 50%</p> <p>◎テスト 50%</p> <p>◎授業、課題に対する積極性・授業態度(マナー) 加点+0~10%</p> <p>◎出席率 加点+0~15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>◎教材として「ファッションビジネス用語辞典」を使用します。</p> <p>◎ファッション雑誌や、店舗商品カタログなどのビジュアル資料を収集し活用します。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業予定、ファッションを学ぶ、制作方法
2回	ファッションの意義	ファッションと流行の特徴
3回	↓	↓ 制作、他
4回	↓	FBと生活者ニーズ
5回	ファッション産業	ファッション業界の仕組み
6回	↓	アパレル産業の形態と現状
7回	↓	ファッション小売産業と現状
8回	↓	↓ 制作、他
9回	ファッションとライフスタイル	ファッションとライフスタイル
10回	まとめ	まとめ講義、テストについて、制作
11回	↓	前期のまとめ&テスト
12回	↓	前期のまとめ&ファイルチェック
13回	ファッションとブランド	ブランドの意義と特徴
14回	↓	ファッションブランドの種類
15回	顧客とファッション	顧客とファッション商品の細分化
16回	↓	ファッションテイスト 解説、店舗調査
17回	↓	ファッションテイスト 制作、感性イメージについて
18回	↓	ファッションイメージ感性分析① エレガンス マップ制作
19回	↓	ファッションイメージ感性分析② マスキュリン マップ制作
20回	↓	ファッションイメージ感性分析③ ソフィステケート マップ制作
21回	↓	ファッションイメージ感性分析④ スポーティー マップ制作
22回	↓	ファッションイメージ感性分析⑤ カントリー マップ制作
23回	↓	ファッションイメージ感性分析⑥ ロマンティック マップ制作
24回	↓	ファッションイメージ感性分析⑦ フォークロア マップ制作
25回	↓	ファッションイメージ感性分析⑧ モダン マップ制作
26回	↓	ファッションイメージトレンド まとめ 各イメージとの関連
27回	総括	ファッションビジネス用語① 復習
28回	↓	ファッションビジネス用語② ↓
29回	↓	後期のまとめ&テスト
30回	↓	前期のまとめ&ファイルチェック

科目名	市場調査 I	教員名	玉村 雅美
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>市場調査は、何故しなければいけないのか？</p> <p>常に変化するファッションの最新情報をタイムリーに収集する重要性を確認します。</p> <p>最初にワードローブを点検し、その特徴、傾向を共有し、同一アイテムの店舗調査をします。</p> <p>また、最新のファッション雑誌等の内容から現在のファッショントレンドを探っていきます。</p> <p>さらに、街中(青山・表参道・原宿)にて観察調査(街・店舗)を実施し、ファッションの今を探ります。</p> <p>「現場で実際に見て発見したこと」を撮影写真とコメントでまとめる楽しさを味わいます。</p>		
到達目標	<p>◎全てのファッションスペシャリスト(業界人)にとって、「市場調査の必要性」を認識すること。</p> <p>◎青山・表参道・原宿にて、「店舗」の調査を通じて「現在のファッショントレンド」を把握する。</p> <p>◎街や店舗を時系列に調査・分析することで、「変化を発見する」楽しさを味わうこと。</p> <p>◎観察調査(店舗)の手法を習得し、就職活動における情報収集に活用できる。</p> <p>◎街・店・人を観察すること＝感性や創造性を高め、時代を感じ取ること。</p> <p>◎市場調査の基本知識(意義と種類・手法)を理解すること。</p>		
授業の方法	<p>◎講義・実査(散策)・実習(マップ制作)を交えて授業に飽きないように指導する。</p> <p>◎店舗調査から、分析結果を写真とコメントで的確に表現できるように指導する。</p> <p>◎市場調査を通じてファッションの楽しさ、学ぶ意欲を高めていく。</p>		
成績評価の方法	<p>◎課題の内容・出来栄え(含む、提出期限) 100%</p> <p>◎授業、課題に対する積極性・授業態度(マナー) 加点+0~10%</p> <p>◎発表の態度・分かりやすさ 加点+0~10%</p> <p>◎出席率 加点+0~15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>◎普段のショッピングにおいても「市場調査」の視点で店舗内を観察すると勉強になります。</p> <p>◎教材として「ファッションビジネス用語辞典」を使用します。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業予定 ファッションを学ぶ 市場調査の意義
2回	アイテム&ワードローブリサーチ	制作(春 トップス) ワードローブ点検
3回	自由リサーチ	みんなでファッションタウンを散策する
4回	アイテム&ワードローブリサーチ	制作
5回	↓	発表
6回	ファッショントレンドリサーチ	2018春夏 トレンドマップ制作
7回	↓	制作①～発表
8回	↓	課題説明 店舗リサーチ(実査)
9回	↓	制作② 提出
10回	アイテム&ワードローブリサーチ	実査(夏 ボトムス) ワードローブ点検
11回	↓	制作
12回	↓	発表
13回	ファッションタウンリサーチ 青山	課題説明 タウン・ショップ実査
14回	↓ 表参道	タウン・ショップ実査
15回	↓	制作
16回	↓	発表 講評
17回	ファッションショップリサーチ	店舗調査の方法(講義) 課題説明
18回	自由リサーチ	みんなでファッションタウンを散策する
19回	ファッションショップリサーチ①	制作～実査
20回	↓	↓
21回	↓	制作
22回	↓	発表 講評
23回	アイテム&ワードローブリサーチ	実査(秋冬 アウター) ワードローブ点検
24回	↓	制作
25回	↓	発表 講評
26回	ファッションショップリサーチ②	講義、課題説明
27回	↓	実査～制作
28回	↓	制作
29回	↓	発表 講評
30回	総括	ファイルチェック レポート作成

科目名	ファッション販売 I	教員名	加藤 誠司
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>ファッション業界、アパレル企業で仕事をする上での基本的な学習。</p> <p>ファッション販売に関する基礎知識の習得を目指す。</p> <p>ファッション販売職としての基本的学習と実技の習得(ラッピング(包装)、体型サイズ計測(採寸)を含む)等</p> <p>ファッション基礎用語の習得(ファッションを語る上で必要不可欠な専門用語・業界用語等)</p> <p>各商品アイテムの種類、衣服のディテール(細部デザイン)等知識の習得。</p> <p>ファッション販売のプロとしての感性、人間性を磨きセンスを身につける。</p>		
到達目標	<p>顧客の要望に応えられる販売力(商品知識、販売技術)を習得する。</p> <p>トータルファッションを背景にコーディネート提案が表現できるようになること。</p> <p>お客様にリピーターになって貰える様なファッションアドバイザーを目指す。</p>		
授業の方法	<p>学生の個性が生かせる様に臨機応変な対応で学生の素質を伸ばしていく。</p> <p>実際のショップを題材に調査・分析して授業に反映させていく。</p> <p>ファッション販売能力検定試験対応の教材本使用。(販売職の内容に即しての教習が基本となります)</p> <p>特に3級検定試験受験(資格取得)への模擬テストも実施していきます。</p> <p>その他、時間的な問題、状況に合わせて販売職に必要な実技実習を行う。</p>		
成績評価の方法	<p>◎各種課題等、提出物(提出期限を含む) 50% ◎ペーパーテスト 30%</p> <p>◎ノート筆記内容チェック及び提出(提出期限含む) 20%</p> <p>◎授業、課題に対する積極性・授業態度(マナー) 加点+0~10%</p> <p>◎出席率 加点+0~15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	授業オリエンテーション	授業内容の説明。販売職の役割と重要性について 等。
2回	ファッション販売知識	ファッションとは。ファッション販売について。
3回	↓	ファッション小売業の業種・業態。お客様にとっての店舗とは。
4回	↓	顧客について。ライフスタイルショップの販売知識。
5回	ファッション販売検定模擬テスト	授業内容範囲の問題を出題
6回	ファッション販売技術	販売スタッフの基本マナー。購買心理の理解。
7回	↓	買い物の仕方。接客の基本とコンサルティング・セールス。
8回	↓	包装。贈答のマナー。
9回	↓	包装の実技実習。
10回	ファッション販売検定模擬テスト	授業内容範囲の問題を出題
11回	商品知識	アイテムの知識。インナーウェアの知識。
12回	↓	↓
13回	↓	服飾雑貨について。アイテムの種類と分類。
14回	↓	↓
15回	↓	素材の種類と加工。商品と素材のマッチングについて。
16回	↓	シルエットの知識について。
17回	↓	柄の種類と特徴。サイズの知識。
18回	↓	↓
19回	↓	商品の品質管理。副資材の種類。
20回	ファッション販売検定模擬テスト	授業内容範囲の問題を出題
21回	売場づくり	店舗の環境づくり。店舗実態調査。
22回	↓	ショップマーチャндаイズプレゼンテーション
23回	リテールマーケティング	マーケティングの基礎知識。ファッション店舗のマーケティング。
24回	↓	情報収集の目的と必要性
25回	ファッション販売検定模擬テスト	授業内容範囲の問題を出題
26回	販売スタッフの業務	販売業務と付帯事務。備品管理。
27回	↓	商品管理。店舗計数知識。
28回	↓	キャリアプラン
29回	ファッション販売検定模擬テスト	授業内容範囲の問題を出題
30回	課題提出	キャリアプラン作成

科目名	ビジュアルマーチャンダイジング I	教員名	大橋 康子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>VMDとはビジュアルマーチャンダイジングの略称で、視覚に訴えながら、お客様の購買を喚起する、ディスプレイによるマーケティング手法の略称です。①ビジュアルプレゼンテーション(VP) ②ポイントプレゼンテーション(PP) ③アイテムプレゼンテーション(IP) の3点が主な要素になり、これらによって、「見やすい」「買いやすい」売り場作りを行っています。</p> <p>この授業では、まずはVP・PP・IPがそれぞれどのような役割を果たしているのかを学びます。</p> <p>そして、VP(ウィンドウ等)を重視し、店舗の商品を含めた全体の演出方法について学んでいきます。</p> <p>また、表参道、原宿の季節ごとのVPについて、実際にリサーチを行い、VPの表現方法を学びます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルマーチャンダイジングの考え方の基本を理解すること。 ・VP、PP、IPの役割を理解し、効果的な店舗・売り場づくりの基本を習得すること。 ・VMDに必要な発想力を養うこと。 		
授業の方法	<p>講義を通してVP、PP、IPの各目的、役割を理解し、実習を通してスキルとして体得できるように、三要素を中心に指導します。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・プランニング課題(クリスマス、バレンタイン) 完成度、アイデア、デザインを評価 30% ・シーズンレポート(夏、ハロウィン) レポート内容を評価 30% ・VMD理解度 実習作業・小テストでのVMD理解度評価 40% ・提出期限、出席率、授業態度 加点評価+0~15% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	VMDとは何か？ VMDの目的、考え方等
2回	VMDマップ	VMDの用語、ポジショニング
3回	ショップのVMD	VP：ウインドウ、マネキン・トルソー
4回	↓	VP：演出、ウインドウリサーチ
5回	↓	IP：ラック、ハンガー、器具、什器
6回	↓	IP：高さの有効範囲、平面図
7回	商品のVMD	商品の並べ方(陳列の基本)
8回	↓	グルーピング、色順、分類整理
9回	仮ショップ実習	仮ショップによる空間構成、商品構成、システム什器仕様
10回	↓	↓
11回	↓	↓
12回	プランニング(Ⅰ)	クリスマスウインドウ
13回	プランニング(Ⅱ)	バレンタインツール プラン企画書、サンプル制作
14回	↓	↓
15回	↓	↓

科目名	ファッショントレンド分析 I	教員名	平山 宙歩
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>アパレルの世界で毎年激しく変わりゆくトレンドの分析能力を身につける。</p> <p>各シーズン二回ずつ行われるプレコレクション、プレタポルテコレクションからのトレンド長期予測。</p> <p>市場で生まれゆくマーケットトレンドの分析から未来を予測し、仮想の自分のブランドへの落とし込みを行う。</p> <p>将来、自分がマーチャンダイジングやディレクションを行う際に必ず必要となるトレンド予測能力を身につける授業。</p> <p>自分が今、着用している洋服はどんなトレンド要素でできているのか？</p> <p>それがこの先、季節を重ねる毎にどの様に変化していくかを経験し、</p> <p>店頭のカatalogや施策などからシーズン後半を予測、検証をしていく。</p>		
到達目標	<p>トレンドを身近に感じ、取り入れることでファッションの楽しさを知り、</p> <p>洋服を通してワクワクを提供できる人材育成を目指す。</p> <p>トレンドの変化を体感し、新しく出てきた要素を自分なりに解釈できるようになる。</p> <p>そのキーワードを咀嚼して、仮想の自分ブランドの洋服に落とし込めるようにしていく。</p> <p>最終的にはアパレル業界で一生使えるトレンド解析能力を身につけること。</p>		
授業の方法	<p>実際のコレクション画像を用いて今、流行しているトレンドがどこの発信なのか、この先どの様に変化していくかを探っていく。</p> <p>日々、新しく生まれゆく新しいマーケットトレンドから、この先の日本のアパレル市場を柔軟に予測していく。</p> <p>トレンド予測を行い、自分が未来のトレンドをつくる楽しさを実感できる授業を目指す。</p>		
成績評価の方法	<p>・課題 50% ・テスト 40%</p> <p>・普段のスタイリング 10%</p> <p>・課題 提出物に対する積極性 授業態度 加点 +0~10%</p> <p>・出席率 加点 +0~15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>普段からトレンドを意識したスタイリングを心がける。</p> <p>なぜ自分が今日の服を着ているのか？ を説明できるようおしゃれしてください。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション アパレルとは？	アパレル業界の仕組みを紹介
2回	オリエンテーション アパレル職種紹介？	アパレルの内部組織の紹介
3回	トレンドとは？	コレクションの種類や影響を及ぼす時期の説明
4回	2018SS クルーズコレクションからのトレンド動向	クルーズコレクションからのこの春へのトレンド
5回	2018SS プレタポルテコレクションからのトレンド動向	プレタポルテコレクションからのこの春へのトレンド
6回	TREND MAPの作り方	シーズン解説をする際に必要なマップの作成
7回	2018AW リゾートコレクション解析	今年の冬の傾向を先取りリゾートコレクションから先取り
8回	2018AW リゾートコレクションTREND MAP作成	リゾートコレクションからトレンドを落とし込んだマップ作成
9回	2018AW ブランドディレクション	仮想の自分ブランドへのトレンドの落とし込み
10回	2018AW プレタポルテコレクション解析	今年の冬の傾向を先取りプレタポルテコレクションから先取り
11回	2018AW 本コレクションTREND MAP作成	プレタポルテコレクションからトレンドマップ作成
12回	2018AW ブランドディレクション	仮想の自分ブランドへのトレンドの落とし込み
13回	前期まとめ、前期テスト	前期まとめ、前期テスト
14回	前期テスト 返却	テスト解説
15回	2018年 立ち上がり施策検証	立ち上がりの施策やコラボレーションをリサーチ
16回	2018AW カタログ解析	今期のカタログを収集、分析
17回	2018AW カタログからのAW2予測	カタログからのこの冬のマーケットトレンドを予測
18回	2019SS クルーズコレクション解析	来年の春の傾向を先取りクルーズコレクションから先取り
19回	2019SS クルーズコレクションTREND MAP作成	クルーズコレクションからトレンドを落とし込んだマップ作成
20回	2019SS クルーズコレクションディレクション	仮想の自分ブランドへのトレンドの落とし込み
21回	コート商戦解析	アパレル最大の売上の山、コート商戦の分析、トレンド解析
22回	セール予測	カタログ、コート商戦からセール時期のアイテム予測を行う
23回	2019SS プレタポルテコレクション解析	来年の春の傾向を先取りプレタポルテコレクションから先取り
24回	2019SS プレタポルテコレクションTREND MAP作成	プレタポルテコレクションからのトレンドマップ作成
25回	2019SS プレタポルテコレクションディレクション	仮想の自分ブランドへのトレンドの落とし込み
26回	2018AW 検証① コレクション	今冬のコレクショントレンドを自らの仮説と検証していく
27回	2018AW 検証② マーケット	今冬のマーケットトレンドを自らの仮説と検証していく
28回	後期まとめ、後期テスト	後期まとめ、後期テスト
29回	後期テスト 返却	テスト解説
30回	2019年 立ち上がりコラボレーション検証	話題のコラボレーションを各自リサーチ

科目名	ファッション画	教員名	松本 和子
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>ファッション業界において、ファッション画(イラスト、製品図)が描ける事は、イメージの表現伝達手段の一つとして、便利なことであり、大切なことです。</p> <p>ファッション画の基礎を学ぶことで、他の授業、就職活動、その後の仕事上でのステップアップに役立ててもらいたい。</p> <p>絵を描く事は、対象物(人間、服、ファッショングッズ)をよく見ることです。</p> <p>どの様に考え、服を捉え絵にしていくか？</p> <p>苦手意識を持っている人にも、シンプルに解りやすく、合理的に授業を進めていきます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション画の基本を理解し、イメージを伝達するための基礎的な描写手法を習得すること。 ・ファッション画を学ぶことで、服に対する興味と理解を深め、それまで漠然と眺めていた服を、もっと専門的に観る習慣を養うこと。 ・絵を描く中で服に関する専門用語を理解し、専門用語を使って服の説明ができるようになること。 (服の構造、ディテール、素材、名称の理解を深める) ・必要に応じてファッション画が描けるという自信を身につけること。 		
授業の方法	<p>学生の性格、個性、能力を理解したうえで、持っている良い部分を伸ばしていく。</p> <p>また、努力することで、学生自らが成長する楽しさを感じ取れる授業を目指す。</p> <p>少しづつでも自信が持てるようになり、新しい事にチャレンジする気持ちを育てていきたい。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ★ 課題の出来映え(含む、提出期限) 80% ★ 授業、課題に対する積極性 20% ★ 授業態度(マナー) 加点+0~20% ★ 出席率 加点+0~10% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>絵を描くことを、難しく考え過ぎないこと。</p> <p>きちんと出席し、手を動かすことで1年間の答えが出ます。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	F画を学ぶ目的、画材の説明、F画の基本練習 等
2回	プロポーション	F画の基本バランス、ポーズ及び動きについて
3回	シルエット 画材の扱い	基本シルエットの表現、画材の特徴を体験
4回	人体部分練習 メンズの表現	頭部、顔、手、腕、脚
5回	↓	メンズのプロポーション、ポーズ
6回	着装表現, 製品図 (基礎)	基本アイテムの表現 スカート
7回	↓	↓ パンツ
8回	↓	↓ シャツ
9回	↓	↓ ブラウス
10回	ディテール表現	袖、衿、プリーツ、ギャザー 等
11回	↓	↓
12回	ファッショングッズ	帽子、靴、バッグ、ベルト 等
13回	素材表現	ファー、デニム、キルティング
14回	↓	透明、光沢 等
15回	コラージュ	平面的に形を捉える
16回	着装表現、製品図 (応用)	基本アイテムの表現 ワンピース
17回	↓	↓ ジャケット
18回	↓	↓ "
19回	↓	↓ コート
20回	↓	↓ "
21回	男女ペアの表現	プロポーション、骨格の違いを意識する
22回	↓	↓
23回	民族服	ファッションの歴史を学びながら、民族服の特徴を表現する
24回	↓	↓
25回	自分の持っている服を描く	実物を正確に観察する (シルエット、ディテール)
26回	↓	↓
27回	ワードローブプランニング	一年間のまとめとして
28回	↓	スタイリングを含め、12か月の服を描く
29回	↓	↓
30回	↓	↓

科目名	ファッション造形	教員名	城代 蘭
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>機能性や快適性、多様化するライフスタイルへの対応等、現代における「ファッション」には、さまざまな付加価値が求められており、ファッション業界での仕事に携わる人にとって、服作りについての専門的な知識は欠く事の出来ない大切なことと言える。</p> <p>ファッションビジネスを学ぶ上でも、用途・目的なども含め、素材や加工、機能、着心地について理解を深める事で、幅広い対応が出来るようになる。</p> <p>手縫いの基礎ではボタン付けやまつり縫い、ミシンの基礎では縫い代の始末を学び、アイテム製作ではデザインに合わせた素材の選択、構造と縫製技術について学ぶ。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・服作りの基礎を習得し、構造を理解すること。 ・簡単なお直しができるようになること。 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し手縫いとミシン縫製をし、技術を身につける。 ・作品を製品と捉え、コストや着心地についても考える。 ・自己採点をすることで、苦手とする部分を見つけ、克服していくよう指導する。 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の出来栄え(提出期限含む) 40% ・授業態度、積極性 10% ・確認テスト 30% ・出席率 20% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業内容の説明/道具の説明/衣服製作の手順/採寸説明
2回	採寸/手縫いの基礎(1)	採寸実技/手縫いの基礎練習
3回	小物の構造と工程(1)	ピンククッション製作
4回	ミシンの基礎(1)	ミシン・ロックミシンの構造説明/ミシンの基礎練習/道具入れ
5回	↓	↓
6回	小物の構造と工程(2)	巾着製作
7回	ミシンの基礎(2)	基礎縫い 端の始末
8回	小物の構造と工程(3)	トートバッグ製作
9回	↓	↓
10回	↓	↓
11回	手縫いの基礎(2)	基礎縫い ボタン付け3種・スプリングホック・前カン・まつり・千鳥がけ・糸ループ
12回	↓	↓
13回	帽子の構造と工程	帽子の種類 裁断/縫製
14回	↓	↓
15回	前期のまとめ、前期テスト	前期のまとめ、確認テスト
16回	パンツの構造と工程	パンツの種類 裁断/縫製
17回	↓	↓
18回	↓	↓
19回	↓	↓
20回	↓	↓
21回	シャツ/パーカーの構造と工程	シャツ/アウター(パーカー)の種類 裁断/縫製
22回	↓	↓
23回	↓	↓
24回	↓	↓
25回	↓	↓
26回	↓	↓
27回	ワンピース/服飾雑貨企画	ワンピース/オリジナル服飾雑貨のデザイン/製作
28回	↓	↓
29回	↓	↓
30回	1年間のまとめ、後期テスト	1年間学んだ縫製内容 筆記・実技

科目名	素材 I	教員名	飯島 裕子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>普段、私たちが身につけている服は、どんな素材でできているのか。そして、その服には、なぜその素材が使われているのか。それは季節やトレンドはもちろんのこと、素材の持つ特性がその服に適しているから使われているのです。この授業では、アパレル業界に関わっていく全ての人に役立つ、服地素材の知識を学びます。服地素材と一言で言っても、服地とは繊維が糸になり、糸が布に織られ、更に布自体へ様々な加工が施されたものですので、それら全てについて理解を深める必要があります。また、授業の初めに、服に縫い付けられている品質表示について学びます。一番身近でありながら、よく知らない品質表示。服を企画する仕事では、素材の混率を計算し品質表示ラベルを作らなければなりませんし、服を売る仕事では、品質表示を的確にお客様に説明できることがセールスポイントになります。アパレルの基本となる服地素材の知識をしっかりと身につけてください。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・服地素材の基本的な知識を習得し、服地の的確な取り扱い方法を知ること。 ・それぞれの服に適した素材選びについて理解し、顧客やクライアントに分かりやすく説明ができることで、より良いセールストークに繋げられるようになること。 		
授業の方法	<p>様々な種類の布見本を一冊の「テキスタイルサンプルブック」に貼り付け、そのサンプルブックを併用しながら講義を進めます。ファッション用語辞典で服地の特徴を調べ、サンプルブックに書込むことで、実際の生地を見て、触れて、覚えるというトレーニングを行います。また、年間を通し授業で学んだ服地を生地店でチェックする課題を出し、生地店に足を運び素材と触れ合うことの大切さを学びます。サンプルブックや課題は、きれいにまとめることにより、社会に出て必要になる「人に見せられる資料」作りも学びます。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記テスト(年2回) 40% ・課題の出来栄えと提出状況 60% ・出席率 +0~15% (その度合いにより加点評価) ・授業態度 +0~10% (その度合いにより加点評価) <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ガイダンス／品質表示	素材の授業について／品質表示について
2回	品質表示／被服の性能／ブック	品質表示について／洗濯の知識／テキスタイルサンプルブックの作成
3回	天然繊維Ⅰ	綿服地について
4回	↓	綿繊維について
5回	天然繊維Ⅱ	麻服地、繊維について
6回	天然繊維Ⅲ	ウール服地について
7回	前期まとめ、テスト	前期まとめ、前期筆記試験
8回	天然繊維Ⅲ	ウール繊維について
9回	被服の性能	クリーニング工場見学
10回	天然繊維Ⅳ	シルク服地、繊維について
11回	化学繊維Ⅰ	再生繊維と半合成繊維の服地、繊維について
12回	化学繊維Ⅱ	合成繊維、無機繊維の服地、繊維について
13回	糸について／織物	糸の種類と特性／織物の種類と構造
14回	テスト／ニット	後期筆記試験／ニット服地について／編物の種類と構造
15回	布の加工／織、編以外の素材	柄の種類や染色、整理加工／不織布や革、毛皮

科目名	ファッション論	教員名	上間 常正
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>ファッションについて学び、考えるために必要な基礎的知識。</p> <p>人が服を着ること、身体を飾ることの意味を、伝統的服飾文化から現代ファッションに至るまでの流れを通して解説する。</p> <p>①服を着ることの意味とファッションの歴史</p> <p>②近代・現代ファッションの特色と今後の見通し</p> <p>③ファッションクリエイションの特色、クリエイションとビジネスの深い関係とはどのようなことなのか</p>		
到達目標	<p>①ファッションが好きというだけでは、クリエイターの仕事もビジネスもできない。プロとしての仕事のためには何が必要かを理解する。</p> <p>②人はなぜ服を着るのか、身体を飾るのか？ について深い理解を得る。</p> <p>③ファッションの歴史を知ること、ファッションの現状とこれからの可能性について、クリエイションとビジネスの両面から考える能力を高める。</p>		
授業の方法	<p>講義形式を基本とするが、スライドやビデオをなるべく使って理解の手助けとする。</p> <p>テーマによっては質問を投げかけて学生の意見参加を求め、かつ成績評価の参考とする。</p> <p>内容によっては感想文やレポートの提出を求める。</p>		
成績評価の方法	<p>①出席率と授業態度 40%</p> <p>②感想文・レポート 40%</p> <p>③質問への答えによる理解力の判定 20%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ファッションの基礎知識	人はなぜ服を着るのか ファッションと流行
2回	ファッションの楽しさ	2018年秋冬コレクションのスライド解説
3回	ファッションの歴史 ①	人はいつから服を着たのか？ 服の基本形
4回	” ②	近代ファッションの成立と特色
5回	” ③	オートクチュールの成立とデザイナーの出現
6回	” ④	プレタポルテの出現とブランドビジネスの拡大
7回	ファッション業界の仕組み	川上から川下までの流れと各仕事の役割
8回	ファッションブランド論	ブランドとは何か ブランディングについて
9回	ファッションデザインとは？	デザインとはどんなことか アートとの関係
10回	ファッションビジネス論	ファッションビジネスの特色 マーケティングについて
11回	トレンドについて	トレンドとは何か トレンドの読み方
12回	ファッションクリエイションの方法	デザイン発想から服作り、ビジネスまでの実例紹介
13回	ファッション発信の現場	マーク・ジェイコブスのコレクション舞台裏のドキュメント映画と解説
14回	ファストファッションについて	その現状と意味
15回	全体のポイントの復習	覚えておくべきポイント 今後のファッションの可能性

科目名	カラー I	教員名	落合 里美
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>デザインの三大要素の一つである色彩は、最も顧客の興味を引き付ける力を持っていると言われています。この授業では、そのような色彩のもつ力を最大限に活用するための基礎的な知識を習得していきます。</p> <p>色のしくみ、色のもつ感情効果、対比や同化、面積効果などの色による様々な効果について、配色の基本とファッション業界でよく使われる応用配色、また流行色の流れ、色を使ったVMDの基本的な知識、ファッションアドバイスにおける色彩活用のポイントなどについて学習することにより、ファッション業界において企画、製造、販売のあらゆる分野で、色を仕掛け、顧客に喜ばれる「売れる色彩」を計画するために必要な基本知識を身に付けることができます。</p>		
到達目標	<p>カラーカードを使った演習課題や作品作りを通して、色を見る力を養い、ファッション業界で必要な色彩の基礎知識や技術を身に付けると共に、「ファッション色彩能力検定3級」を取得することを目標とします。</p>		
授業の方法	<p>各单元ごと、講義により基本的な内容について学習した後、カラーカードを使った演習課題を行い、実際に色を「見て」、「使う」練習を繰り返し、楽しく自然に色を使う力を身に付けていきます。</p> <p>また、作品作りでは色彩だけでなく、形や大きさ、配置など、デザインをトータルで考えた上で、効果的に色を使う訓練をしていきます。色を感覚的に使うのではなく、色を理論として捉え、説得力のある色使いができるようになるために、作品の分析や発表(プレゼンテーション)なども行っていきます。</p>		
成績評価の方法	<p>◎演習課題(理解度) 50% ◎授業態度(積極性) 加点+0~10%</p> <p>◎作品による応用力 30% ◎出席率 加点+0~10%</p> <p>◎プレゼンテーション能力 10% ◎課題の提出状況(提出期限の厳守) 加点+0~10%</p> <p>◎ミニテスト 10%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>使用教材:ファッション色彩能力検定3級 公式テキスト「ファッション色彩 I」</p> <p>「ファッション色彩能力検定試験 3級問題集」</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	教材のセッティング、身のまわりで使われている色の役割について
2回	色の三属性①	色の持つ性質について理解する(有彩色と無彩色、色の三属性)
3回	” ②	色相(マンセルシステムの基本10色相)
4回	” ③	明度、彩度、等色相面、色立体
5回	トーン①	各トーンの特徴とイメージ
6回	” ②	純色、清色、濁色
7回	配色の基本①	色相を基準とした配色方法
8回	” ②	トーンを基準とした配色方法
9回	応用配色①	グラデーション、レピテーション
10回	” ②	アクセントカラー配色
11回	” ③	セパレーションカラー配色
12回	ファッションカラーコーディネート①	コントラスト配色
13回	” ②	トーン・イン・トーン配色、トータル配色
14回	” ③	カマイユ配色、フォ・カマイユ配色
15回	” ④	トーン・オン・トーン配色、マルチカラー配色
16回	色彩構成	シンメトリー/アシンメトリー、ベースカラー/アソートカラー他
17回	色彩心理①	色の感情効果
18回	” ②	色の見え(対比、同化、面積効果他)
19回	混色理論	加法混色、減法混色、中間混色
20回	色が見える仕組み①	光と色
21回	” ②	視覚と色
22回	ファッション産業と色彩①	流行色
23回	” ②	色名
24回	” ③	素材と色
25回	” ④	デザインと色彩、VMD、ファッションアドバイスと色彩
26回	生活の中の色	服飾における色の役割、視認性・誘目性他
27回	ファッションカラーコーディネートの応用①	作品制作
28回	” ②	”
29回	” ③	”
30回	” ④	作品の発表(プレゼンテーション)

科目名	パソコンワーク	教員名	塚田 大祐
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>ファッションの業界においても、パソコンを使用しないで仕事をするという事はあり得ません。</p> <p>Webでの画像加工や印刷物の作成、売上管理や顧客管理などではパソコンが絶対必須のツールになります。</p> <p>この科目では、画像加工をするPhotoshop Elements、印刷物を作成するIllustrator、案内状等を作成するword、売上管理や顧客管理等で使用するExcel、プレゼンテーションや企画書に使用するPowerPointの基本操作を習得し理解していきます。</p> <p>パソコンでできることは多岐に渡ってありますが、使用すればするほど自分のクリエイティブな部分を広げてくれるツールですので、1年間の中で基本操作をマスターし、自分のイメージしたものを形にできるように指導します。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Photoshop Elements : 画像の加工・合成・編集等の操作を習いながら、SNSやカタログ等に使用する画像の加工方法を習得すること。 ・Illustrator : トレンドマップやポストカード等の作成に必要な操作を習いながら、Photoshop Elementsで加工した画像を貼り付けて1つの作品を完成させること。 ・ワード : 表組みや画像取り込みも含めた簡単な案内状の作成ができること。 ・エクセル : 見やすい表組み作成と代表的な関数・グラフを使用してデータ作成ができるようになること。 ・パワーポイント : プレゼンテーション資料や企画書を作成する手法を習得すること。 		
授業の方法	<p>各アプリケーションごとに資料を用意し、全員同じものを作成しながら基本操作を学んでいきます。</p> <p>その後に、課題(例:自分の好きなアーティストのコラージュなど)を作成して、制作条件やバランスを見て評価します。</p>		
成績評価の方法	<p>課題の出来映え(デザインや全体のバランス、アプリケーションの機能をうまく活用しているか) 50%</p> <p>授業に対する態度・マナー 20%</p> <p>出席率 30%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	授業進行の説明 Photoshop Elementsの基礎1	PCのセッティング・操作方法・データ保存方法・データの取り扱いについて・フォルダの作成、画面構成説明
2回	Photoshop Elementsの基礎2	画像の切り抜き1・合成・レイヤー操作1(レイヤーとは・表示非表示等)
3回	Photoshop Elementsの基礎3	画像の切り抜き2・画像の補正
4回	Photoshop Elementsの基礎4	パターン作成・レイヤー操作2(レイヤースタイル・レイヤー間の移動)
5回	Photoshop Elementsの基礎5	画像・文字の加工
6回	Photoshop Elementsの基礎6	レイヤーマスク・フィルタ効果
7回	Photoshop Elements課題作成	自分の好きなもののコラージュを作成 (素材決めとレイアウト構成の決定)
8回	Photoshop Elements課題作成	自分の好きなもののコラージュを作成
9回	Photoshop Elements課題作成	自分の好きなもののコラージュを作成
10回	Photoshop Elements課題作成	自分の好きなもののコラージュを作成・印刷・課題提出
11回	ワード	案内状の作成方法(インデント・タブ・表組み・行間設定等)
12回	ワード／テスト	案内状・チラシの作成方法(画像挿入、ワードアート等)／テスト
13回	エクセル	基本操作(文字・数値入力・罫線作成・四則演算) 使用頻度の高い関数の使用方法
14回	エクセル	表作成・商品管理等に必要な関数など使用頻度の高い関数の使用方法1
15回	エクセル／テスト	表作成・商品管理等に必要な関数など使用頻度の高い関数の使用方法2/ テスト
16回	Illustratorの基礎1	画面構成説明・オブジェクトの塗りと線・図形作成・編集
17回	Illustratorの基礎2	A4チラシを作成しながらの演習(レイヤー操作・グラデーション作成・ 拡大縮小・回転などの使い方)
18回	Illustratorの基礎3	A4チラシを作成しながらの演習(文字の入力・画像の挿入・ クリッピングマスクの作成)
19回	Illustratorの基礎4	A4チラシを作成しながらの演習(文字の加工・画像の加工とレイアウト)
20回	Illustratorの基礎5	DMを作成しながらの演習
21回	Illustratorの基礎6	DMを作成しながらの演習
22回	Illustrator課題作成	トレンドマップの作成(IllustratorとPhotoshop Elementsの併用)と 素材集め
23回	Illustrator課題作成	トレンドマップの作成(IllustratorとPhotoshop Elementsの併用)
24回	Illustrator課題作成	トレンドマップの作成(IllustratorとPhotoshop Elementsの併用)
25回	Illustrator課題作成	トレンドマップの作成(IllustratorとPhotoshop Elementsの併用)／ 課題提出
26回	パワーポイント	基本操作(スライドの追加・図形等の挿入)画像等の加工など
27回	パワーポイント	スライドマスター・スライドショーの設定、動画挿入など
28回	パワーポイント課題作成	企業の紹介プレゼン資料作成の課題
29回	パワーポイント課題作成	企業の紹介プレゼン資料作成の課題
30回	パワーポイント課題作成	企業の紹介プレゼン資料作成の課題

科目名	コミュニケーションマナー I	教員名	秋山 美子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>社会人になると、友達関係とは異なる、ビジネスを通してつながる人間関係が重要な位置を占めてきます。そこで、仕事をする上で必要不可欠な敬語をはじめ、立ち居振る舞い、ビジネスマナー、コミュニケーションの基本を習得します。</p> <p>人間関係を円滑にし、社会で自分の可能性を広げていく第一歩を作ることができます。</p> <p>まずは、1年後にチャレンジする就職活動に向けて、その基盤を固めていきます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーとコミュニケーションの基本を理解すること。 ・意識しなくても、自然に正しい言葉遣い・立ち居振る舞いがしっかりできること。 		
授業の方法	<p>講義だけでなく、繰り返しのロールプレイングで、基本をブラッシュアップしていきます。</p> <p>一人ひとりの良いところを伸ばし、基本を中心に、各人のレベルにも目を向け指導します。</p> <p>難しい内容もしっかり伝えつつ、明るく楽しく学べる授業を目指します。</p>		
成績評価の方法	<p>◎テスト 30%</p> <p>◎授業の取り組み方(積極性)、授業態度(マナー) 30%</p> <p>◎出席日数 40%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>授業内容はすべて、日常生活の様々なシーンで実践ができます。</p> <p>どこでも楽しみながら、さらなる自分磨きをしてください。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ビジネス基本マナー	第1印象の重要性について
2回	↓	好感度の高い第1印象を作る立ち居振る舞い、マナーの必要性
3回	↓	コミュニケーションの基本(話の仕方聞き方、声の影響力和発声)
4回	↓	敬語演習(敬語の種類、使い方など)
5回	↓	↓
6回	↓	↓
7回	前期のまとめ&テスト	前期のまとめ&テスト
8回	ビジネス基本マナー	アルバイト言葉・直したい言葉癖と正しい言葉遣い
9回	↓	ビジネスシーンでの訪問マナー・名刺のマナー
10回	↓	ビジネスシーンでの席次マナー
11回	就職活動対策①	就職活動に向けての心構え・ポイント
12回	就職活動対策②	履歴書・エントリーシートの書き方
13回	後期テスト、ビジネス基本マナー	後期テスト、公の場での立食パーティーマナー
14回	就職活動対策③	面接で自分を伝える準備と技術(自己分析の必要性、ワークなど)
15回	就職活動対策④	↓

科目名	英会話 I (シニアコース)	教員名	SUZANNE STEINER
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>英会話を学ぶ上では、相手が話していることを理解し、自分が思っていることを相手に伝えることができるようになることが重要です。多くの学生は英語は難しいと思っていますが、苦手意識を捨てて、意欲的に授業に参加し、トライしてみることで、自分が「解る&出来る」ことに気づき、それを繰り返すことで、「解る&出来る」といった気持ちが膨らんでいきます。授業では、日常会話の他、海外旅行で役立つ会話、ファッションに関連する会話など、英語で簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。英語でのコミュニケーションがとれるようになると、旅行、友達、仕事など、人生の幅が広がりますので、皆さんに、そういった広い世界を知ってもらえるための手助けをしたいと思っています。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人との英語での簡単なコミュニケーションがとれるようになること。 ・日常会話やビジネス会話の基礎を理解し、就職後、仕事に活かすことができるようになること。 ・英語でのコミュニケーションにより、広い世界を知り、豊かな人生を送ること。 		
授業の方法	<p>楽しい英語で、楽しくコミュニケーションし、英語に対する恐怖心をなくすことが基本になります。</p> <p>毎回の授業の始めに、教師が学生に英語で簡単な質問をし、学生は英語でそれに答える訓練をします。</p> <p>そのあと、テキスト&CDおよび教師が用意したレジユメを使用し、リスニングや会話のロールプレイングを行います。授業中はいつでも学生が教師に質問できるので、積極的に質問して、解らないことはその場で解決するようにしてください。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 20% ・授業態度(参加意欲) 20% ・テスト 60% ・フォローのための作文 +30% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>テキストとして「FASHIONABLE ENGLISH a language course for design students」(南雲堂)を使います。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション、Placement Test
2回	0 IT'S NICE TO MEET YOU!	教師と会話、テキスト(Meeting People)・日常会話ロールプレイング
3回	1 WHAT SHALL I WEAR?	教師と会話、テキスト(Clothes and Apparel)・日常会話ロールプレイング
4回	↓	教師と会話、テキスト(Clothes and Apparel)・日常会話ロールプレイング
5回	2 WHAT COLOR IS IT?	教師と会話、テキストブック(Colors and Patterns)・日常会話ロールプレイング
6回	↓	教師と会話、テキストブック(Colors and Patterns)・日常会話ロールプレイング
7回	3 WHAT'S IT MADE OF?	教師との会話、テキスト(Materials)・日常会話ロールプレイング
8回	↓	教師との会話、テキスト(Materials)・日常会話ロールプレイング
9回	↓	教師との会話、テキスト(Materials)・日常会話ロールプレイング
10回	4 DO THEY MATCH?	教師との会話、テキスト(Coordination)・日常会話ロールプレイング
11回	↓	教師との会話、テキスト(Coordination)・日常会話ロールプレイング
12回	↓	教師との会話、テキスト(Coordination)・日常会話ロールプレイング
13回	5 WHAT'S HOT AND WHAT'S NOT?	教師との会話、テキスト(Styles and Trends)・日常会話ロールプレイング
14回	↓	教師との会話、テキスト(Styles and Trends)・日常会話ロールプレイング
15回	↓	教師との会話、テキスト(Styles and Trends)・日常会話ロールプレイング
16回	6 WHAT DOES HE LOOK LIKE?	教師との会話、テキスト(Describing People)・日常会話ロールプレイング
17回	↓	教師との会話、テキスト(Describing People)・日常会話ロールプレイング
18回	↓	教師との会話、テキスト(Describing People)・日常会話ロールプレイング
19回	7 WHAT'S YOUR PLACE LIKE?	教師との会話、テキスト(Home Decorating)・日常会話ロールプレイング
20回	↓	教師との会話、テキスト(Home Decorating)・日常会話ロールプレイング
21回	↓	教師との会話、テキスト(Home Decorating)・日常会話ロールプレイング
22回	8 WHERE DID YOU GET IT?	教師との会話、テキスト(Shops and Cafes)・日常会話ロールプレイング
23回	↓	教師との会話、テキスト(Shops and Cafes)・日常会話ロールプレイング
24回	↓	教師との会話、テキスト(Shops and Cafes)・日常会話ロールプレイング
25回	9 HOW DO YOU MAKE IT?	教師との会話、テキスト(Sewing and Cooking)・日常会話ロールプレイング
26回	↓	教師との会話、テキスト(Sewing and Cooking)・日常会話ロールプレイング
27回	↓	教師との会話、テキスト(Sewing and Cooking)・日常会話ロールプレイング
28回	10 HOW OFTEN DO YOU GET A HAIR CUT?	教師との会話、テキスト(Daily Routines)・日常会話ロールプレイング
29回	↓	教師との会話、テキスト(Daily Routines)・日常会話ロールプレイング
30回	↓	教師との会話、テキスト(Daily Routines)・日常会話ロールプレイング

科目名	英会話 I (エレメンタリーコース)	教員名	JERRY SCHLEGEL
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>英会話を学ぶ上では、相手が話していることを理解し、自分が思っていることを相手に伝えることができるようになることが重要です。多くの学生は英語は難しいと思っていますが、苦手意識を捨てて、意欲的に授業に参加し、トライしてみることで、自分が「解る&出来る」ことに気づき、それを繰り返すことで、「解る&出来る」といった気持ちが膨らんでいきます。授業では、日常会話の他、海外旅行で役立つ会話、ファッションに関連する会話など、英語で簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。英語でのコミュニケーションがとれるようになると、旅行、友達、仕事など、人生の幅が広がりますので、皆さんに、そういった広い世界を知ってもらえるための手助けをしたいと思っています。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人との英語での簡単なコミュニケーションがとれるようになること。 ・日常会話やビジネス会話の基礎を理解し、就職後、仕事に活かすことができるようになること。 ・英語でのコミュニケーションにより、広い世界を知り、豊かな人生を送ること。 		
授業の方法	<p>楽しい英語で、楽しくコミュニケーションし、英語に対する恐怖心をなくすことが基本になります。</p> <p>授業は、テキスト&CDおよび教師が用意したレジュメを使用し、リスニングや会話のロールプレイングを行います。</p> <p>授業中はいつでも学生が教師に質問できるので、積極的に質問して、解らないことはその場で解決するようにしてください。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト 60% ・授業態度(参加意欲) 40% ・出席率 加点+0~30% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>テキストとして「PASSPORT2」(OXFORD UNIVERSITY PRESS)を使います。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション 、 Placement Test
2回	1.What's the purpose of your visit?	Listening、Conversation 、 Role play
3回	↓	↓
4回	↓	Review with worksheet and speaking practice
5回	2.How much is it?	Listening、Conversation 、 Role play
6回	↓	↓
7回	↓	Review with worksheet and speaking practice
8回	3.When is the next train to Xi'an?	Listening、Conversation 、 Role play
9回	↓	↓
10回	↓	Review with worksheet and speaking practice
11回	1～3の復習	テストのための復習
12回	テスト	テスト、まとめ
13回	4.The TV is broken.	Listening、Conversation 、 Role play
14回	↓	↓
15回	↓	Review with worksheet and speaking practice
16回	5.What is there to see?	Listening、Conversation 、 Role play
17回	↓	↓
18回	↓	Review with worksheet and speaking practice
19回	6.I'd like to rent a snowboard, please.	Listening、Conversation 、 Role play
20回	↓	↓
21回	↓	Review with worksheet and speaking practice
22回	7.Tell me about your country.	Listening、Conversation 、 Role play
23回	↓	↓
24回	↓	Review with worksheet and speaking practice
25回	8.How was your weekend?	Listening、Conversation 、 Role play
26回	4～7の復習	テストのための復習
27回	テスト	テスト、まとめ
28回	8.How was your weekend?	Listening、Conversation 、 Role play
29回	↓	Review with worksheet and speaking practice
30回	Free conversation	Free conversation

科目名	フランス語 I	教員名	TOUSCOZ PHILIPPE-JEAN
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FB 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>初めてフランス語を学ぶ人のための、初級レベルのフランス語会話をマスターします。</p> <p>概要 : 挨拶、数の数え方など、まずは会話の基本を習得します。</p> <p>フランス語の基本文法や語彙(ボキャブラリー)を学びます。</p> <p>フランス語特有の発音・アクセントを習得します。</p> <p>いろいろな場面を想定して、街中で道を尋ねられた時の会話や、フランスに旅行した時に必要な会話など、生きたフランス語会話を身につけます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス語での挨拶や簡単な会話ができるようになること。 ・基本的な語彙を、できるだけたくさん覚えること。 ・文法の基本を理解するとともに、フランス語特有の発音を習得すること。 		
授業の方法	<p>毎回初めの15分程度は、基本的な挨拶や会話を繰り返し訓練します。</p> <p>そのあと、テキストを使って、文法を説明しつつ、会話のロールプレイングを行います。</p> <p>教師と学生、学生と学生がフランス語で質問して答えるトレーニングや、歌で発音を覚える練習や、自分の発音を録音して確認するなど、楽しく、分かりやすくフランス語をマスターできるように指導します。</p> <p>日本語での説明も行いますので、安心して受講してください。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 25% ・授業への参加意欲 25% ・挨拶や基本的な会話の口頭によるテスト 25% ・筆記テスト 25% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>テキストとして「ALTER EGO-1」(Hachette Japon)を使います。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション、フランス語の挨拶
2回	Chapitre1 Les uns, les autres	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
3回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
4回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
5回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
6回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
7回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
8回	Chapitre2 Ici, ailleurs	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
9回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
10回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
11回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
12回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
13回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
14回	Chapitre3 Dis-moi qui tu es	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
15回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
16回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
17回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
18回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
19回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
20回	Chapitre4 Une journe particulire	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
21回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
22回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
23回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
24回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
25回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
26回	Chapitre5 Vie prive, vie publique	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
27回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
28回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
29回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
30回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習